
15号 北海道がんセンターたより

平成17年6月発行

独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター

〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3-54 TEL 011-811-9111

□ ホームページ <http://www.sap-cc.org>

編集発行人:山下 幸紀



北海道がんセンターの理念

私たちは、国民の健康で幸福な生活のため、最新の知識と医療技術をもとに、良質で信頼ある医療の提供に努め、特に「がん克服」に寄与することを目指します。このため、

- 常に、医療の質と技術の向上を目指します。
- 研究、教育研修を推進し、医療・医学の発展に寄与します。
- 患者さんの権利を尊重し、誠実な医療を実践します。
- 自主自律、創意工夫の精神で病院運営に当たります。

麻酔科紹介



麻酔科医長 岩波 悦勝

当院の麻酔科は、ここ数年は手術麻酔と癌の疼痛管理を中心に行ってきております。

手術麻酔は、年間約2000件の全身麻酔を担当しております。全身麻酔の進歩は目覚しく、術中監視モニターの発達、新しい麻酔薬の開発、麻酔の研究などにより、非常に安全になってきているといえます。そのため以前はなされなかった、高齢者や重篤な合併症や多臓器疾患のある患者の手術も増えてきております。当院での手術の特徴としましては、やはり腫瘍の手術が90%以上を占めていることです。乳がん、肺がん、婦人科がんの手術数が多く、一般外科では転移巣のある手術も多くなっております。また整形外科系の腫瘍や小児がんのような珍しい手術も北海道各地から集まっております。これらの患者さまは、術前から化学療法や放射線療法を受けていることも多く、そのため全身的な予備力が低下しており、より注意深い麻酔管理が要求されます。また手術範囲も大きいことが多く、術後の疼痛対策も非常に重要と考えております。

当院の手術のもう1つの特徴としては、救命救急センター部門の心臓大血管手術、脳血管手術にも対応していることがあげられます。こちらの麻酔もがんの手術と同等あるいはそれ以上の専門性が要求されますが、最先端の知識・情報を吸収しそれを生かして、手術室チーム全体で患者さまの安全を守り、的確な治療にあたっております。患者さまの入院期間の中で、手術日はたった1日ではありますが、そ

の結果がその後の入院生活、あるいは退院後にも長く影響を及ぼすこともあり、医療において周術期は非常に重要な位置を占めているといえます。当院の麻酔科・手術室は、毎日多くの患者さまの手術、麻酔を行っておりますが、「1例1例を大切に」「患者さまにやさしい医療を」をモットーに診療を行っております。

麻酔科のもう1つの大きな役割として、癌の疼痛緩和があります。週1日を院外の患者さまの外来日に、週1日を院内の入院患者さまの往診日に行っております。麻薬や鎮痛補助薬を駆使した薬物治療を中心に、神経ブロック療法も適応のある患者さまに行っております。手術麻酔に追われて、まだまだこちらは院内外の要望には応えきれてないというのが実情かもしれませんが、徐々にではありますが充実させたいと考えております。また将来的な夢ではありますが、緩和ケア病棟の立ち上げなどにも協力できればと遠望しております。

その他の麻酔科の業務としましては、IVHの挿入、人工呼吸管理、気管内挿管などがあり、依頼に応じて対応しておりますのでご相談下さい。

4月に麻酔科医5名全員が新しくこちらの病院の配属となり、約1ヶ月がたちました。何分慣れないこともあり周りの職員の方々にご迷惑をお掛けしていることもあるかもしれませんが、なるべく早くこちらのシステムに対応していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

Contents もくじ *****

麻酔科紹介	麻酔科医長 岩波 悦勝	1
医師の紹介		2~3
お見舞いメール送信の手順		4



医師の紹介



夏賀 健

夏賀健（なつがけん）と申します。4月からがんセンターで火曜日と水曜日の外来診療を担当しております。がん患者様に対してよりよい良質の医療を提供するとともに、皮膚科医としてみなさまの皮膚と皮膚以外の全身の健康を向上すべく、日々取り組んでおります。何かお気づきの点などあれば、遠慮なくご指摘いただければ幸いです。何卒ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



古明地 孝宏

はじめまして、脳外科の古明地 孝宏です。まず私の名前を読める方はほとんどいないと思われま。コメイチ タカヒロとすべてそのまま音読みすればいいだけなのですが、見たことない人名ほど変えて読みたくなるのが、日本人の思考なのでしょう。フルアケチとかフルミュウヂなどと読まれることもしばしばあります。父は山梨出身で、山梨の田舎に古明地を名字に持つ村が存在し、古明地のルーツがそこにあります。話は変わりますが、平成3年に札幌医大を卒業後、同大学の脳外科医局に属し、この前は旭川赤十字病院に勤務しておりました。専門は脳卒中で、がんではありません。しかし、この病院を訪れる脳の患者がすべて癌というわけではありませんし、専門外だからといって診ないわけではありません。手術を含め総合的に脳を診ますので、診察させていただく機会がありましたら全力を尽くしますので、よろしくお願い致します。



三浪 圭太

はじめまして、4月より赴任いたしました泌尿器科三浪圭太と申します。医師として9年目です。泌

尿器癌治療の専門家を目標に日々奮闘中です。泌尿器癌は免疫反応と深い関わり合いがあり、今までに腫瘍免疫学を研究して参りました。泌尿器科癌はもちろんのこと泌尿器科の全般的な疾患についても御相談いただければ幸いです。以前空手部に所属していましたが目指すは、空手同様フットワークの軽い医師です。よろしくです。



市川 伸樹

こんにちは。本年度から当院勤務となりました市川伸樹（いちかわのぶき）です。平成15年卒北大出身です。若輩者ではありますが、一生懸命やらさせていただきます。

いつも笑顔で心がけて頑張ります。診察は、月曜日、火曜日、金曜日の乳腺外科外来となっております。どうぞ宜しくお願い致します。



氏家 英之

皮膚科の氏家英之と申します。4月より月曜・木曜の外来を担当しています。当院には一般の皮膚疾患で受診される方、皮膚がんで紹介受診される方など様々な患者様がいらっしゃいますが、全ての患者様に安心して治療を受けて頂けるよう全力を尽くしたいと考えています。がんを専門に扱う病院に勤務するのは初めてということもあり、これまで以上に緊張感を持って診療にあたっています。どうぞ宜しくお願い致します。



上徳 ひろみ

乳腺外科の水、木、金曜日の外来で、主に術後の患者さまの経過観察と、検診外来を担当しています。診療の対象は主に乳癌になりますが、患者さまそれ

それに最も適当な治療法を提案し、話し合いながらの診療を心がけております。外来は待ち時間が長く、大変申し訳なく思っておりますが、疑問等にはできるだけわかりやすくお答えする努力をしておりますので相談していただきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



中村成弘

4月より耳鼻咽喉科で診療を担当しております中村成弘と申します。今年で耳鼻科医として13年目になりますが、こちらの病院は今回で3回目の勤務となります。微力ながら患者様の満足される治療を目指し尽力致す所存ですので何卒よろしくお願いいたします。



唐尚子

4月から外来担当になりました唐尚子です。今までに北大病院と砂川市立病院での勤務経験があります。当科はがんに関連した眼の病気以外にも、白内障や緑内障、糖尿病網膜症などの患者さまが多くいらしています。眼について気になることがありますたらお気軽に受診して下さい。眼の病気は体の他の部位と異なり、どこがどのように悪いのか想像しにくい事が多いと思いますので、図や模型を使用して患者さまが理解しやすいように説明する努力をしています。



富田幸希

皮膚科の火曜と木曜の外来を担当しております。

皮膚に起こった種々の異常に、対応いたします。皮膚病は根気のいる病気も多いですが、それぞれの患者さまにあった治療法を提供できるよう、努力していきたいと思っております。



網野泰文

本年4月1日より当院眼科に赴任した網野泰文です。

平成8年に北大眼科教室に入局後北大病院での高度医療だけでなく、地域での眼科診療も経験させて頂きました。

当院は『がんセンター』ではありますが、眼科では一般診療も行っておりますので、『眼鏡が合わない』『目が痒い』といった患者さまでも遠慮なく受診して頂ければ幸いです。

患者さまの快適な視機能のために精一杯努力させて頂きますので、何卒宜しくお願い致します。



鈴木左知子

昭和62年帝京大学医学部卒業、同年北海道大学医学部第三内科に入局しました。その後、大学病院の他、いくつかの病院で血液疾患を中心に一般内科医師として勤務し、本年4月より統括診療部医師（血液内科医師）として当院に勤務することになりました。専門は血液疾患です。

趣味と言えほどのものは残念ながら何もありませんが、週末は料理を楽しんでおります。その他、買い物も大好きですが、最近はそれも難しくなりました・・・。



第23回 北海道がん講演会

日時 平成17年7月2日(土)
午後1時30分～午後4時

場所 札幌エルプラザ 3階ホール
札幌市北区北8条西3丁目

●北海道がんセンターの医師による講演

がん診療の最近の話題

開会あいさつ・・・北海道がんセンター 院長 山下 幸紀
司 会・・・統括診療部長 西尾 正道

- 1『消化管のがん』 消化器科医長 高橋 康雄
- 2『肝胆膵のがん』 消化器科医師 藤川 幸司
- 3『皮膚のがん』 皮膚科医長 加藤 直子
- 4『耳鼻咽喉科のがん』 耳鼻咽喉科医長 永橋 立望

閉会あいさつ・・・北海道がんセンター 副院長 内藤 春彦

お見舞いメール送信の手順

1
クリック

2
クリック

3

患者様に対するお見舞いの内容を送信してください。
(伝言板ではありませんのでご注意ください。)

お見舞いメール専用アドレス
gma@mail.hok-cc.or.jp



当院で実施しているおこな手術を、先月号で紹介致しました。その際、泌尿器科の手術の一部が一覧表からもれていました。下記のとおり訂正させていただきます。

手術		2003年実施数	2004年実施数
泌尿器科	腎悪性腫瘍手術（うち鏡視下手術）	26 (14)	23 (13)
	副腎腫瘍切除術（うち鏡視下手術）	4 (3)	9 (7)
	膀胱癌：経尿道的切除術	22	35
	膀胱癌：膀胱全摘除術	9	0
	前立腺癌：前立腺全摘除術	37	39
前立腺癌：前立腺小線源埋込み手術	0	16	

